

健康で安全安心、
有意義で楽しい夏
休みを！

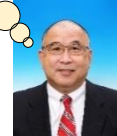


本中だより

令和5年7月号

墨田区立本所中学校

校長 松井 隆



教育目標 『心豊かな たくましい本中生を育成すること』

《心豊かに たくましく》

豊かな感性と思いやりの心を培う文武両道の学力向上校を目指します。本校は、人間尊重の精神と社会貢献の精神を基調として、知徳体の志ある人間教育を眼目に、品格ある学校、静かな学校、きれいな学校、そして、今までできなかったことができるようになる学校を具現化します。そこで、持続可能な知識基盤社会において活躍し幸福な百年人生を実現するとともに、心豊かな人間性とたくましく生き抜く力をもった本中生を育成していきます。そのためには、次の3つの言葉を要とします。

改革；自己改革の情熱と、向上し挑戦する心

真理；真実を学ぶ心と、誠実な心

和合；和みのある豊かな感性と、思いやりの心

校 訓 『学びあう』

百年人生で生涯学習の時代です。学びあうことは、可能性を開花するとともに、どんな困難をも克服して、明るい社会と幸福な人生につながります。 墨田区立本所中学校

夏休みを安全・安心に有意義で楽しく過ごすため、次の16カ条を戒めとしましょう

- ① いつでもどこでも自他の生命を大切にし、規範意識をもつ。ここに、自分や他人に対する誠実さがあります。
- ② 夏休みは開放的な雰囲気から、問題行動を起こす人がいます。絶対に問題行動を起こさない。また、誰に対してもいじめや暴力は許されません。いじめや暴力を否定する意識を強くもつ。けっして暴力行為をしない。偏見や差別の気持ちをもたない。特に、路上生活者に対する偏見や差別意識をもたない。人間は皆、大切な存在であり、人権がとても大切だと心によく受け止める。だから、いじめをしない。いじめをさせない。いじめに加担しない。いじめを見逃さない。もし、いじめ等で困った時には、勇気を出して相談する。悩みがあれば一人で抱え込んでいないで、保護者や先生、適切な相談機関に相談しましょう。
- ③ もし、他者から脅される、暴力を受ける、暴力を受けるような危険がある時は、迷わず、直ぐに110番通報です。学校にもすみやかに連絡相談をしてください。
- ④ 人権侵害はもとより、非行や犯罪等の行為をしない。犯罪や事故に巻き込まれないように注意する。具体的には、学校内外での暴力行為をしない。万引きをしない。飲酒をしない。喫煙をしない。薬物乱用をしない。家出をしない。無断外泊をしない。深夜徘徊をしない。恐喝や性にかかわる問題行動をしない。鉄道等公共交通機関への妨害行為をしない。また、自転車窃盗や自動販売機荒らしは窃盗罪に当たる行為であり、絶対に許されない行為です。
- ⑤ インターネット、スマートフォン、携帯電話から得られる情報を不適切に使用しない。誹謗や中傷をしない。詐欺行為、出会い系サイト、オンラインゲームやオンライン上のコミュニケーション等を通じての見知らぬ者との交際による性被害・性犯罪、サイバー犯罪等の被害者もしくは加害者に絶対にならない。本校で禁止されているLINE、TWITTER等のSNSサイト等、インターネット上で、他人の悪口や個人情報を記載することは絶対にしない。
- ⑥ 交通安全に心掛け、交通ルールやマナーを守り、自転車の走行時や歩行時の事故防止に努める。バイクや自動車に注意し、飛び出しによる衝突事故や不注意による接触事故、交差点での巻き込み事故を防ぎ、交通事故から身を守る。特に、出会い頭に注意する。そのためには、自動車等の運転者の目を見て、運転者が自分の姿や存在に気が付いているか

を確認して、アイコンタクトをとる。自転車に乗っても、加害者にも被害者にもならないように、慎重に乗る。

- ⑦ 不審者による声かけや痴漢行為が発生しています。誘拐や連れ去り、性被害等に遭わないように注意する。危険を感じた時、迷わず、直ちに110番通報をする。
- ⑧ 山や川等における旅行時では、安全に行動して、危険を回避して自らの命を守る。
- ⑨ 河原等での火遊びをせず、火傷や火災事故等の防止に努め、家庭でも火の取り扱いには十二分に注意する。
- ⑩ 海や河川、プール、山等では慎重に行動し、溺れたり、転落したりすることがなく、危険を回避し自らの生命を守るとともに、水泳時での健康管理に留意し、飛び込み等の危険な行為は避ける。高温多湿の気象条件や雷、光化学スモッグ、ゲリラ豪雨等に対してよ

く注意する。熱中症の予防のため、よく睡眠をとり、水分補給をしっかりと行う等、体調管理に気を付けて生活し、活動する。

- ⑪ 児童館、図書館、公園等の公共施設やスーパーマーケット・コンビニエンスストア・フードコート等を利用する際、公共の規則をよく遵守し、マナーやエチケットを守る。社会のルールやマナーを無視する行動をせず、公共の場所での遊び方や施設利用の仕方に留意し、本中生としての誇りと品格ある行動をする。
- ⑫ コロナは禍は晴れつつあるものの、新型コロナ感染症予防、夏の花粉症予防、夏風邪等の感染予防、その他の感染症拡大防止のため、手洗い、うがい、咳エチケットの励行をする。人が集まる場所への無用な外出は控える。
- ⑬ 海外旅行では、コロナ等の病気やテロ事件等の海外の情

報をよく踏まえ、出発前には外務省の渡航情報や報道等の最新情報を確認する。

- ⑭ 見知らぬ他人からの誘い（荷物を運んだらお金をあげるとか、大事なものを受け取ってくれば報酬を出す等）を契機に、詐欺等の犯罪に巻き込まれることがあります。詐欺の犯罪行為の加害者や被害者にならないために、危険を感じる誘いがあった場合、保護者や学校、警察に直ちに連絡する。まずは、迷わずに110番通報です。
- ⑮ 正しい金銭感覚をもち、浪費や友人間の金銭や物品の貸し借り、贈与等をしない。
- ⑯ 夏休み、自ら進んで学習し自律した生活を送りましょう。部活動等においても、健康と体調管理に十分に気を付け、有意義な夏休みを過ごしてください。そして、夏休み明けの9月には元気に登校しましょう。楽しみにしています。

◎Society(ソサエティ)5.0 の情報安全に備えて

これからの社会での情報の危険性に鑑み、中学校段階では、本校はSNSをしないことをルールとしています。しかし、卒業後、高度情報社会の大波を受けることは必至です。そこで、情報安全のための心構えや身構えを、今からしっかり作っておく必要があります。次のことに留意しトラブルを防止しましょう。

その1、まぎらわしい言葉を使わない インターネットやSNSは、直接話さないで、相手の意図が伝わりにくい。そのため、普段から言葉を正しく使う習慣を身に付け、十分に気を付けましょう。

その2、文章を考えてから送信する 一時の感情に任せて情報発信をしてしまうと、取り返しがつかなくなる場合があります。文章を送る際には少なくとも読み直しをするなど、『ゆとり』をもちましょう。

その3、保護者とのルールを作る インターネット、SNSのトラブルは、未成年者だけでは解決できない場合があります。危機回避の点からも、普段から保護者とよく話し合い、しっかりとしたルールを決めましょう。

その4、既読無視されても気にしない 既読無視は、傷付けたり、精神的なストレスにつながる場合があります。しかし、相手にもいろいろな事情があることを頭に入れて冷静に対応していきましょう。以上のことをしっかり考えて、トラブルに巻き込まれないようにするため、正しくインターネットを使う心構えや身構えを養いましょう。

◎インターネットを使う上でも**人の悪口を言わない・だまされない**ことが肝心です。

◎いじめは、いつでも誰にでも起こり得ることを前提とし24時間対応のいじめ電話相談窓口が開設されています。すみだスクールサポートセンター**電話03-3613-0127**です。いじめ問題に関する相談ができます。勇気を出して相談をしてください。さらに、『どんな小さなことでも心配・不安・悩みがある時は一人で悩まず、相談しましょう』『TOKYOほっとメッセージチャンネル』(<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>)にも相談できます。